

(様式第1-7号)

令和〇〇年度 多面的機能支払交付金 金銭出納簿

組織名：

- ★「分類」欄は、分類番号（１～８）から選択してください。
- ★「区分」欄には、農地維持・資源向上（共同）に係る収支は「１」を、資源向上（長寿命化）に係る収支は「２」を必ず入力してください。
区分ができない収支は「１」を記入してください。
- ★農地維持・資源向上（共同）の交付金を活用して資源向上（長寿命化）の活動を行った際の費用は、区分を「１」にし、「長寿命化への活用」欄に○を記入してください。
- ★交付金交付前に活動資金を構成員が一時的に立て替えて会計口座へ繰り入れた場合は、収入欄にその立替額を記入してください。
また、返済の際は返済額をマイナスの収入として収入欄に記入し、一時的な立替額が収入/支出の合計に計上されないようにしてください。

[illegible]

[illegible]

日付	分類	内 容	区分	収入（円）	支出（円）	残高（円）	領収書 番号	活動 実施日	備考	長寿命化 への活用
----	----	-----	----	-------	-------	-------	-----------	-----------	----	--------------

※領収書は、通し番号を記入した上で、必ず保管しておいてください。（領収書の保管の方法は袋等による保管でも構いません。）

【集計】 1 農地維持・資源向上（共同）（円）

項目	金額	
	収入	支出
1.前年度持越		
2.交付金		
3.利子等		
4.日当		
5.購入・リース費		
6.外注費		
7.その他支出		
8.返還		
次年度への持越（残高）		
合 計		

【集計】 2 資源向上（長寿命化）（円）

項目	金額	
	収入	支出
1.前年度持越		
2.交付金		
3.利子等		
4.日当		
5.購入・リース費		
6.外注費		
7.その他支出		
8.返還		
次年度への持越（残高）		
合 計		

※「分類」には、下表を参考に該当する費目の番号を記入します。

番号	費目	内 容（例）
1	前年度持越	前年度からの持越金
2	交付金	農地維持支払交付金、資源向上支払交付金（共同）、資源向上支払交付金（長寿命化）
3	利子等	利子等、構成員による活動資金の立替金
4	日当	活動参加者に対して支払った日当
5	購入・リース費	資材（砕石、砂利、砂等）の購入費、活動に必要な機械（草刈り機など）の購入費、パソコンなどのリース費、車両、機械等の借り上げ費、花の種、苗代など
6	外注費	補修・更新等の工事等（調査、設計、測量、試験等を含む）に係る建設業者等への外注費、事務の外注費など
7	その他支出	技術指導等のために外部から招く専門家等への謝金、活動に係る旅費、保険料、文具代及び光熱費の費用、アルバイト等への賃金、草刈り機や車の燃料代、役員報酬、お茶代など
8	返還	返還金

活動記録で選択された取組番号から、区分、項目、取組を自動入力するための表				実施回数 のカウント
番号	支払区分	活動項目	取組	
200	事務処理	事務処理	200 事務処理	
300	会議	会議	300 会議	
1	農地維持	点検・計画策定	1 点検	
2	農地維持	点検・計画策定	2 年度活動計画の策定	
3	農地維持	研修	3 事務・組織運営等に関する研修	
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10	農地維持	実践活動	農道	10 農道の草刈り
11	農地維持	実践活動	農道	11 農道側溝の泥上げ
12	農地維持	実践活動	農道	12 路面の維持
13	農地維持	実践活動	ため池	13 ため池の巡回り
14	農地維持	実践活動	ため池	14 ため池の泥上げ
15	農地維持	実践活動	ため池	15 ため池附属施設の保守管理
16	農地維持	実践活動	共通	16 異常気象時の対応
17	農地維持	推進活動	推進活動	17 農業者の検討会の開催
18	農地維持	推進活動	推進活動	18 農業者に対する意向調査、現地調査
19	農地維持	推進活動	推進活動	19 不在村地主との連絡体制の整備等
20	農地維持	推進活動	推進活動	20 集落外住民や地域住民との意見交換等
21	農地維持	推進活動	推進活動	21 地域住民等に対する意向調査等
22	農地維持	推進活動	推進活動	22 有識者等による研修会、検討会の開催
23	農地維持	推進活動	推進活動	23 その他
24	共同	機能診断・計画策定	機能診断	24 農用地の機能診断
25	共同	機能診断・計画策定	機能診断	25 水路の機能診断
26	共同	機能診断・計画策定	機能診断	26 農道の機能診断
27	共同	機能診断・計画策定	機能診断	27 ため池の機能診断
28	共同	機能診断・計画策定	機能診断	28 年度活動計画の策定
29	共同	研修	研修	29 機能診断・補修技術等に関する研修
30	共同	実践活動	農用地	30 農用地の軽微な補修等
31	共同	実践活動	水路	31 水路の軽微な補修等
32	共同	実践活動	農道	32 農道の軽微な補修等
33	共同	実践活動	ため池	33 ため池の軽微な補修等
34	共同	計画策定	生態系保全	34 生物多様性保全計画の策定
35	共同	計画策定	水質保全	35 水質保全計画、農地保全計画の策定
36	共同	計画策定	景観形成・生活環境保全	36 景観形成計画、生活環境保全計画の策定
37	共同	計画策定	水田貯留・地下水かん養	37 水田貯留計画、地下水かん養計画の策定
38	共同	計画策定	資源循環	38 資源循環計画の策定
39	共同	実践活動	生態系保全	39 生物の生息状況の把握（生態系保全）
40	共同	実践活動	生態系保全	40 外来種の駆除（生態系保全）
41	共同	実践活動	生態系保全	41 その他（生態系保全）
42	共同	実践活動	水質保全	42 水質モニタリングの実施・記録管理（水質保全）
43	共同	実践活動	水質保全	43 畑からの土砂流出対策（水質保全）
44	共同	実践活動	水質保全	44 その他（水質保全）
45	共同	実践活動	景観形成・生活環境保全	45 植栽等の景観形成活動（景観形成・生活環境保全）
46	共同	実践活動	景観形成・生活環境保全	46 施設等の定期的な巡回点検・清掃（景観形成・生活環境保全）
47	共同	実践活動	景観形成・生活環境保全	47 その他（景観形成・生活環境保全）
48	共同	実践活動	水田貯留・地下水かん養	48 水田の貯留機能向上活動（水田貯留機能増進・地下水かん養）
49	共同	実践活動	水田貯留・地下水かん養	49 地下水かん養活動、水田かん養材の保全（水田貯留機能増進・地下水かん養）
50	共同	実践活動	資源循環	50 地域資源の活用・資源循環活動（資源循環）
51	共同	啓発・普及	啓発・普及活動	51 啓発・普及活動
52	共同	増進活動	増進活動	52 遊休農地の有効活用
53	共同	増進活動	増進活動	53 農地周りの環境改善活動の強化
54	共同	増進活動	増進活動	54 地域住民による直営施工
55	共同	増進活動	増進活動	55 防災・減災力の強化
56	共同	増進活動	増進活動	56 農村環境保全活動の幅広い展開
57	共同	増進活動	増進活動	57 医療・福祉との連携
58	共同	増進活動	増進活動	58 農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化
59	共同	増進活動	増進活動	59 都道府県、市町村が特に認める活動
60	共同	増進活動	増進活動	60 広報活動
61	長寿命化	実践活動	水路	61 水路の補修
62	長寿命化	実践活動	水路	62 水路の更新等
63	長寿命化	実践活動	農道	63 農道の補修
64	長寿命化	実践活動	農道	64 農道の更新等
65	長寿命化	実践活動	ため池	65 ため池の補修
66	長寿命化	実践活動	ため池	66 ため池（附属施設）の更新等

活動記録に独自の取組を選択できるようにする場合は、黒い線より上に行を挿入し、F列～I列に100番以降の番号、項目名等を追加してください。

←活動記録に取組番号が入力された回数のカウントし、これをもとに実施状況報告書の「実施欄」の○、×を判定しています。

都道府県要綱基本方針において取組を追加した場合の設定方法（県の担当者が作業してください）

要綱基本方針において取組を追加した場合、以下の方法により修正することができます。

●共通：活動記録で、追加した取組番号を入力できるようにする

1）「取組番号早見表シート」及び「取組番号シート」に番号、支払区分、活動項目、取組を追加する。

2）「選択肢」シートのK列～O列の72行以降に行を挿入し、追加した取組番号、支払区分、活動項目、取組を入力する。

3）「選択肢」シートP列の72行以降にP71セル（活動記録に入力された回数のカウントを行う款式）をコピーする。（この作業により、活動記録に取組番号が入力された回数F列に入力され、これをもとに実施状況報告書の「実施欄」の○、×を判定します。）

●農村環境保全活動、多面的機能の増進を図る活動、長寿命化のための活動を追加する場合は以下の設定を行う

①農村環境保全活動の項目を追加する場合

活動計画書3（2）1）で実践活動を選択する際に、追加した項目を選択できるようにする

1）「選択肢」シートのQ列の50「地域資源の～」の下に番号と取組を入力する。

このとき、「●共通」で入力した取組名と同じになるように注意してください。

2）「款式」タブの「名前の管理」を選択し、リストの中から「K.農村環境保全活動」を選択し、「参照範囲」の右のアイコンをクリック

3）参照範囲に追加した取組を含むよう範囲を選択し直し、確定する。

②多面的機能の増進を図る活動の項目を追加する場合

②-1 活動計画書3（2）2）で都道府県、市町村が認める具体的な活動の内容を選択できるようにする

1）「選択肢」シートのR列の59「都道府県、～」の下に番号と取組を入力する。

2）「款式」タブの「名前の定義」を選択し、任意のリスト名と参照範囲を設定する。

3）活動計画書3シートの3.の（2）の2）の「都道府県、市町村が認める具体的な活動」の記入欄を選択した状態で「データタブ」の「データの入れ規則」を選択する。

4）入力値の設定を「リスト」にし、「元の値」の表示の入力欄を選択した状態で「款式」タブの「款式で使用する」を選択する。

5）リストの中から2）で設定したリスト名を選択し確定する。

②-2 活動計画書4（2）の加路措置の適用条件の確認ができるようにする

「加算措置」シートの（2）「資源向上支払（共同）」の多面的機能の更なる増進に向けた活動への支援の適用条件の確認欄に新たに行を追加し、追加した取組を入力する。

③長寿命化の項目を追加する場合

活動計画書3（3）で実践活動を選択する際に、追加した項目を選択できるようにする

1）「選択肢」シートのM列の66「ため池（附属施設）」の更新等」の下に番号と取組名を入力する

2）「款式」タブの「名前の管理」を選択し、リストから「M.長寿命化」を選択し、「参照範囲」の右のアイコンをクリック

3）参照範囲に追加した取組を含むよう範囲を選択し直し、確定する。

活動計画書、実施状況報告書のブルグワン選択用	活動計画書、実施状況報告書のブルグワン選択用
	L.増進活動
独自の取組を選択できるようにする場合は、この下に100番以降の番号、項目名等を追加してください。	52 遊休農地の有効活用
	53 農地周りの環境改善活動の強化
	54 地域住民による直営施工
	55 防災・減災力の強化
	56 農村環境保全活動の幅広い展開
	57 医療・福祉との連携
	58 農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化
	59 都道府県、市町村が特に認める活動
	M.長寿命化
独自の取組を選択できるようにする場合は、この下に100番以降の番号、項目名等を追加してください。	61 水路の補修
	62 水路の更新等
	63 農道の補修
	64 農道の更新等
	65 ため池の補修
	66 ため池（附属施設）の更新等

独自の取組を選択できるようにする場合は、この下に100番以降の番号、項目名等を追加してください。